

令和6年度

仙台市ガス事業会計決算の大要

仙台市ガス局

令和6年度仙台市ガス事業の概況と決算の概要

1 事業の概況

本市のガス事業は、国際情勢が不安定さを増し、エネルギー事業者を取り巻く環境が不透明な状況下にあっても、地域社会を支えるライフラインとして、都市ガスを安定的に供給するため、製造・供給設備の適切な維持管理と計画的な更新を行うとともに、需要家戸数とガス販売量の維持・拡大に努めました。

事業実績につきましては、年度末の需要家戸数は346,787戸（都市ガス345,292戸、プロパンガス1,495戸）と、新築賃貸集合物件の獲得や、他燃料への離脱が減少したことなどにより、前年度と比較して757戸（0.2%）の増となりましたが、ガスの販売量は289,572千 m^3 （都市ガス254,725千 m^3 、プロパンガス321千 m^3 、液化天然ガス34,526千 m^3 ）で、前年度と比較して4,719千 m^3 （1.6%）の減となりました。

収支の状況につきましては、収入の面では、販売量が減少したことにより、収入全体では前年度と比較して3.7%の減となりました。

一方、費用の面では、前年度よりも原料価格が低めに推移したことにより売上原価が減少したものの、附帯事業における液化天然ガスの供給量の増加に伴い、費用全体としては0.5%の増となり、差引17億1千6百万円の純利益（消費税及び地方消費税抜き）となりました。

設備投資につきましては、一層の安全性向上のため、継続的に経年本支管の入替えに取り組むとともに、都市ガスの製造・供給にかかる各種設備やシステムの更新などを推進し、総額43億3千9百万円の建設改良費を執行しました。

営業面につきましては、家庭用では、住宅メーカーや不動産会社等のニーズに沿った提案営業を実施し、都市ガス採用拡大に取り組むとともに、ガス暖房や衣類乾燥機等の機器導入提案を併せて行い、販売量の拡大に努めました。また、業務用では、お客さまの業種業態等を踏まえた営業を展開し、機器更新等の時機を捉え、最適な提案に取り組むなど、新規需要の獲得と他燃料からの燃料転換に努めました。

以上が決算の概況であります。今後も企業価値の向上と経営基盤強化のほか、市民サービスの更なる向上につながる民営化に継続して取り組むとともに、都市ガスの安定供給を通してお客さまの安全で快適な暮らしを支え、地域社会の発展に貢献し続けるエネルギー事業者を目指してまいります。

(1) 戸数と販売量

区 分	単 位	令 和 6 年 度	令 和 5 年 度	比 較	
				増減(△減)	比率(%)
需 要 家 戸 数					
一 般 ガ ス 事 業	戸	345,292	344,536	756	100.2
簡 易 ガ ス 事 業	〃	1,495	1,494	1	100.1
計	〃	346,787	346,030	757	100.2
販 売 量					
一 般 ガ ス 事 業 (45MJ/m ³)	千m ³	254,725	264,182	△ 9,457	96.4
附 帯 事 業 (45MJ/m ³ 換算)	〃	34,847	30,109	4,738	115.7
簡易ガス事業 (100.4652MJ/m ³)	〃	321	334	△ 13	96.1
	〃	(144)	(150)	(△ 6)	
液 化 天 然 ガ ス 販 売 事 業	〃	34,526	29,775	4,751	116.0
	t	(28,551)	(24,622)	(3,929)	
計 (45MJ/m ³ 換算)	千m ³	289,572	294,291	△ 4,719	98.4
1戸1ヶ月当たり使用量					
一 般 ガ ス 事 業 (45MJ/m ³)	m ³	69.8	72.3	△ 2.5	96.5
簡 易 ガ ス 事 業 (100.4652MJ/m ³)	〃	9.9	10.0	△ 0.1	99.0

(2) 設備の現況

区分	設 備 名	数 量 及 び 能 力		増 減 (△減)
		令 和 6 年 度	令 和 5 年 度	
一 般	気 化 装 置			
	O R V	2基 60 t/時間	2基 60 t/時間	0 t/時間
	S M V	1基 30 〃	1基 30 〃	0 〃
	計	3基 90 〃	3基 90 〃	0 〃
ガ ス	ガ ス ホ ル ダ ー			
	球 形	7基 700,000 m ³	7基 700,000 m ³	0 m ³
	計	7基 700,000 〃	7基 700,000 〃	0 〃
事 業	導 管			
	本 支 管	4,460,162 m	4,458,334 m	1,828 m
	供 給 管	745,740 〃	739,490 〃	6,250 〃
	計	5,205,902 〃	5,197,824 〃	8,078 〃
附 帯 事 業	高 圧 装 置	16 基	16 基	0 基
	導 管	49,617 m	49,617 m	0 m

2 決算の概要

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額			決 算 額	増 減 (△減)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△減)	計		
事 業 収 益	52,193,391	△ 5,084,732	47,108,659	45,653,949	△ 1,454,710
製 品 売 上	45,297,462	△ 6,316,000	38,981,462	38,627,767	△ 353,695
ガ ス 売 上	45,297,462	△ 6,316,000	38,981,462	38,627,767	△ 353,695
営 業 雑 益	2,264,985	△ 3,000	2,261,985	1,335,437	△ 926,548
受 注 工 事 収 入	2,055,462	0	2,055,462	1,178,518	△ 876,944
器 具 販 売 収 入	158,740	△ 3,000	155,740	108,441	△ 47,299
そ の 他 営 業 雑 収 益	50,783	0	50,783	48,478	△ 2,305
附 帯 事 業 収 益	3,609,508	217,000	3,826,508	3,659,932	△ 166,576
プ ロ パ ン 販 売 収 入	81,330	△ 8,000	73,330	72,147	△ 1,183
受 託 工 事 収 入	6,255	0	6,255	664	△ 5,591
器 具 販 売 収 入	821	0	821	9	△ 812
液 化 天 然 ガ ス 卸 供 給 収 入	3,521,047	225,000	3,746,047	3,587,060	△ 158,987
そ の 他 営 業 雑 収 益	55	0	55	52	△ 3
営 業 外 収 益	1,018,136	989,268	2,007,404	2,028,982	21,578
受 取 利 息 及 び 配 当 金	29,520	13,357	42,877	42,877	0
他 会 計 補 助 金	19,637	0	19,637	19,637	0
国 庫 補 助 金	561,977	939,000	1,500,977	1,488,454	△ 12,523
県 補 助 金	0	4,911	4,911	4,874	△ 37
為 替 差 益	100,000	0	100,000	123,109	23,109
長 期 前 受 金 戻 入	249,900	0	249,900	259,790	9,890
雑 収 入	57,102	32,000	89,102	90,241	1,139
特 別 利 益	3,300	28,000	31,300	1,831	△ 29,469
固 定 資 産 売 却 益	0	28,000	28,000	0	△ 28,000
過 年 度 損 益 修 正 益	3,300	0	3,300	1,831	△ 1,469

(注) 収益的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的収入は、当初 52,193,391千円を予定いたしました。液化天然ガス卸供給収入、国庫補助金等の増収見込みと、ガス売上、プロパン販売収入等の減収見込みとの差引きにより、5,084,732千円を減額補正し、最終予算額は 47,108,659千円となりました。

これに対する決算額は、為替差益、長期前受金戻入等の増収と、ガス売上、受注工事収入等の減収との差引きにより 45,653,949千円となり、予算額に対して 1,454,710千円の減収となりました。

収 益 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額						決 算 額	翌年度 繰越額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△減)	予備費 支出額	流用増減額 (△減)	繰越額	計			
事業費	48,165,311	△ 4,303,958	0	0	78,172	43,939,525	41,889,642	8,454	2,041,429
営業費用	42,060,872	△ 4,309,133	0	△ 150,509	78,172	37,679,402	36,629,311	8,454	1,041,637
売上原価	29,461,312	△ 3,783,000	0	8,655	73,897	25,760,864	25,278,581	0	482,283
供給販売費	11,135,401	△ 376,133	0	△ 156,610	0	10,602,658	10,130,471	0	472,187
一般管理費	1,464,159	△ 150,000	0	△ 2,554	4,275	1,315,880	1,220,259	8,454	87,167
その他営業費用	2,199,782	0	0	0	0	2,199,782	1,312,104	0	887,678
受注工事費	2,046,375	0	0	0	0	2,046,375	1,207,527	0	838,848
器具販売費	153,407	0	0	0	0	153,407	104,577	0	48,830
附帯事業費	3,022,747	300,000	0	13,943	0	3,336,690	3,281,537	0	55,153
プロパン販売費	99,766	△ 5,000	0	13,943	0	108,709	98,109	0	10,600
受託工事費	6,146	0	0	0	0	6,146	731	0	5,415
器具販売費	718	0	0	0	0	718	12	0	706
液化天然ガス 卸供給費	2,916,117	305,000	0	0	0	3,221,117	3,182,685	0	38,432
営業外費用	829,910	△ 300,825	0	136,566	0	665,651	665,650	0	1
支払利息	244,439	△ 11,555	0	△ 1,028	0	231,856	231,855	0	1
為替差損	100,000	0	0	△ 8,739	0	91,261	91,261	0	0
消費税及び 地方消費税	476,156	△ 289,270	0	150,134	0	337,020	337,020	0	0
雑支出	9,315	0	0	△ 3,801	0	5,514	5,514	0	0
特別損失	2,000	6,000	0	0	0	8,000	1,040	0	6,960
固定資産売却損	0	6,000	0	0	0	6,000	0	0	6,000
過年度損益修正損	2,000	0	0	0	0	2,000	1,040	0	960
予備費	50,000	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000
予備費	50,000	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000

(注) 収益的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的支出は、当初 48,165,311千円を予定いたしましたが、液化天然ガス卸供給費等の増額見込みと、売上原価、供給販売費等の減額見込みとの差引きにより、4,303,958千円を減額補正し、これに前年度繰越額 78,172千円を加え、最終予算額は 43,939,525千円となりました。

これに対する決算額は、売上原価、供給販売費、受注工事費等の減少により 41,889,642千円となり、一般管理費 8,454千円を翌年度へ繰り越したため、不用額は 2,041,429千円となりました。

(2) 資本的収入及び支出

資 本 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額				決 算 額	増 減 (△減)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	繰越額	計		
資本的収入	1,124,532	123,000	0	1,247,532	170,601	△ 1,076,931
企業債	1,000,000	0	0	1,000,000	0	△ 1,000,000
工事負担金	124,532	0	0	124,532	170,601	46,069
固定資産売却代金	0	123,000	0	123,000	0	△ 123,000

(注) 資本的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的収入は、当初 1,124,532千円を予定いたしましたが、固定資産売却代金の増収見込みにより、123,000千円を増額補正し、最終予算額は 1,247,532千円となりました。

これに対する決算額は、170,601千円となり、予算額に対して 1,076,931千円の減収となりました。

資 本 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△減)	流 用 増 減 額 (△減)	繰 越 額	計			
資本的支出	8,728,494	△ 377,143	0	2,442,176	10,793,527	6,958,587	2,237,947	1,596,993
建設改良費	6,109,848	△ 377,143	0	2,442,176	8,174,881	4,339,942	2,237,947	1,596,992
製造設備	280,959	0	0	331,694	612,653	336,442	164,450	111,761
供給設備	5,640,814	△ 377,143	0	2,073,190	7,336,861	3,905,247	2,031,554	1,400,060
業務設備	178,546	0	0	37,292	215,838	94,216	41,943	79,679
附帯事業設備	9,529	0	0	0	9,529	4,037	0	5,492
企業債償還金	2,618,646	0	0	0	2,618,646	2,618,645	0	1

(注) 資本的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的支出は、当初 8,728,494千円を予定いたしました。建設改良費の減額見込みにより、377,143千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した建設改良費 2,442,176千円を加え、最終予算額は 10,793,527千円となりました。

これに対する決算額は 6,958,587千円となり、建設改良費 2,237,947千円を翌年度へ繰り越いたしましたので、不用額は 1,596,993千円となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 6,787,986千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 366,162千円、過年度分損益勘定留保資金 2,051,917千円、減債積立金 2,618,645千円及び建設改良積立金 1,751,262千円で補てんいたしました。

(3) 損益計算書

比較損益計算書

(単位 千円)

費用の部				収益の部			
科目	令和6年度	令和5年度	増減(△減)	科目	令和6年度	令和5年度	増減(△減)
営業費用	35,176,063	35,291,369	△ 115,306	製品売上	35,121,086	34,584,978	536,108
その他営業費用	1,189,902	1,339,721	△ 149,819	営業雑益	1,214,156	1,364,103	△ 149,947
附帯事業費	3,276,948	2,736,180	540,768	附帯事業収益	3,327,218	2,772,976	554,242
営業外費用	328,408	413,275	△ 84,867	営業外収益	2,024,226	4,572,058	△ 2,547,832
特別損失	1,014	10,438	△ 9,424	特別利益	1,691	664	1,027
小計	39,972,335	39,790,983	181,352	小計	41,688,377	43,294,779	△ 1,606,402
当年度純利益	1,716,042	3,503,796	△ 1,787,754	当年度純損失	—	—	—
計	41,688,377	43,294,779	△ 1,606,402	計	41,688,377	43,294,779	△ 1,606,402

(注) 損益計算書は消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 41,688,377千円で、前年度に比べ 1,606,402千円の減収となりました。これは製品売上 536,108千円、液化天然ガス卸供給収入等の附帯事業収益 554,242千円、過年度損益修正益の特別利益 1,027千円の増加に対し、受注工事収入等の営業雑益 149,947千円、国庫補助金等の営業外収益 2,547,832千円の減少によるものです。

また、総費用は 39,972,335千円で、前年度に比べ 181,352千円の増加となりました。これは液化天然ガス卸供給費等の附帯事業費 540,768千円の増加に対し、売上原価等の営業費用 115,306千円、受注工事費等のその他営業費用 149,819千円、為替差損等の営業外費用 84,867千円、固定資産売却損等の特別損失 9,424千円の減少によるものです。

以上により、当年度は 1,716,042千円の純利益となりました。

(4) 剰余金計算書及び剰余金処分計算書(案)

資本剰余金については、当年度の増減はありませんでしたので、当年度末残高は 289,492千円となりました。

利益剰余金については、前年度末残高が 10,110,503千円でありましたが、議決による処分により 5,740,595千円が減少し、当年度純利益 1,716,042千円が生じたことにより、当年度末残高は 6,085,950千円となりました。

当年度末処分利益剰余金 6,085,950千円については、4,369,908千円を資本金に組み入れ、1,716,042千円を減債積立金に積み立ていたします。

(5) 貸借対照表

比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
科目	令和6年度	令和5年度	増減(△減)	科目	令和6年度	令和5年度	増減(△減)
固定資産	43,802,638	42,789,954	1,012,684	固定負債	22,325,100	25,000,160	△ 2,675,060
流動資産	18,019,686	19,321,565	△ 1,301,879	流動負債	7,858,944	7,099,025	759,919
				繰延収益	2,066,765	2,156,862	△ 90,097
				資本金	23,196,073	17,455,477	5,740,596
				剰余金	6,375,442	10,399,995	△ 4,024,553
計	61,822,324	62,111,519	△ 289,195	計	61,822,324	62,111,519	△ 289,195

(注) 貸借対照表は消費税及び地方消費税抜きの額である。

固定資産については、有形固定資産 1,050,068千円の増加に対し、無形固定資産 37,384千円の減少により、差引き 1,012,684千円の増加となりました。

流動資産については、原料 105,248千円、その他流動資産 84,632千円の増加に対し、現金及び預金 1,061,974千円、売掛金 177,464千円、未収金 233,656千円、製品 232千円、貯蔵品 17,637千円、前払費用 796千円の減少により、差引き 1,301,879千円の減少となりました。

固定負債については、企業債 2,600,739千円、リース債務 26,281千円、引当金 48,040千円の減少により、差引き 2,675,060千円の減少となりました。

流動負債については、リース債務 8,711千円、買掛金 695,296千円、前受金 100,019千円、預り金 4,024千円、引当金 4,157千円の増加に対し、企業債 17,906千円、未払金 33,355千円、未払費用 1,027千円の減少により、差引き 759,919千円の増加となりました。

繰延収益については、長期前受金が減少したことにより、90,097千円の減少となりました。

資本金については、未処分利益剰余金の組み入れにより、5,740,596千円の増加となりました。

剰余金については、利益剰余金の減少により、4,024,553千円の減少となりました。

なお、令和6年度末における用地の内訳は、別表のとおりです。

以上が令和6年度仙台市ガス事業会計決算の概要であります。

用 地 内 訳 表

令和7年3月31日現在

区 分	所 在	面積(㎡)	帳簿価額(千円)	使用目的
工場用地	仙台市宮城野区港四丁目13-2 外1	97,119	2,292,808	港 工 場
	小 計	97,119	2,292,808	
事務所用地	仙台市宮城野区幸町五丁目1-12 外1	41,974	884,812	供 給 管 理 棟
	仙台市青葉区中央二丁目10-3	1,822	1,678,307	シ ョ ー ル ル ーム
	仙台市太白区西中田五丁目16-11	1,146	44,372	西中田サービスセンター
	仙台市泉区将監八丁目1-135 外1	1,231	11,212	旧将監サービスセンター
	仙台市宮城野区幸町三丁目101-5	10,990	1,676,049	幸町三丁目倉庫
	小 計	57,163	4,294,752	
施設用地	仙台市青葉区小田原八丁目328-1 外151	17,838	820,289	整圧器設置等
	多賀城市新田字下河原16-7 外16	1,039	23,621	ガス管橋施設
	仙台市太白区茂庭字生出前24-23 外3	5,595	71,371	茂庭供給所
	仙台市泉区根白石字銅谷堤下13 外7	3,996	51,165	泉供給所
	多賀城市栄四丁目341-1 外5	46,697	223,217	多賀城供給所
	小 計	75,165	1,189,663	
その他用地	仙台市宮城野区扇町六丁目4-5 外4	8,406	643,878	
	仙台市泉区根白石字銅谷明神下13-2 外5	8,143	121,261	
	名取市愛島小豆島字島東66 外2	20,041	23,158	
	仙台市青葉区上愛子字五ッ森12	15,760	5,341	
	仙台市太白区中田町字二軒橋30-3 外10	1,490	83,979	
	小 計	53,840	877,617	
計		283,287	8,654,840	